

島根県のエイズ診療の現状

島根大学医学部附属病院
輸血部 井上政弥



島根県

- 東西に長く（約230km）、離島（隠岐諸島）もある
- 人口：69万9817人(推計人口、2016年10月1日)
 - 都道府県別：46位
- 東西を結ぶ高速道路網は未整備

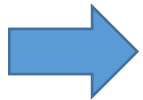
西部地域と東部地域

面積の割合 6 : 4
人口の割合 3 : 7



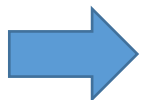
島根県の医療の現状

- 三次医療機能を有する4病院のうち松江・出雲圏域に3病院
- 松江出雲圏域に医師の7割が勤務



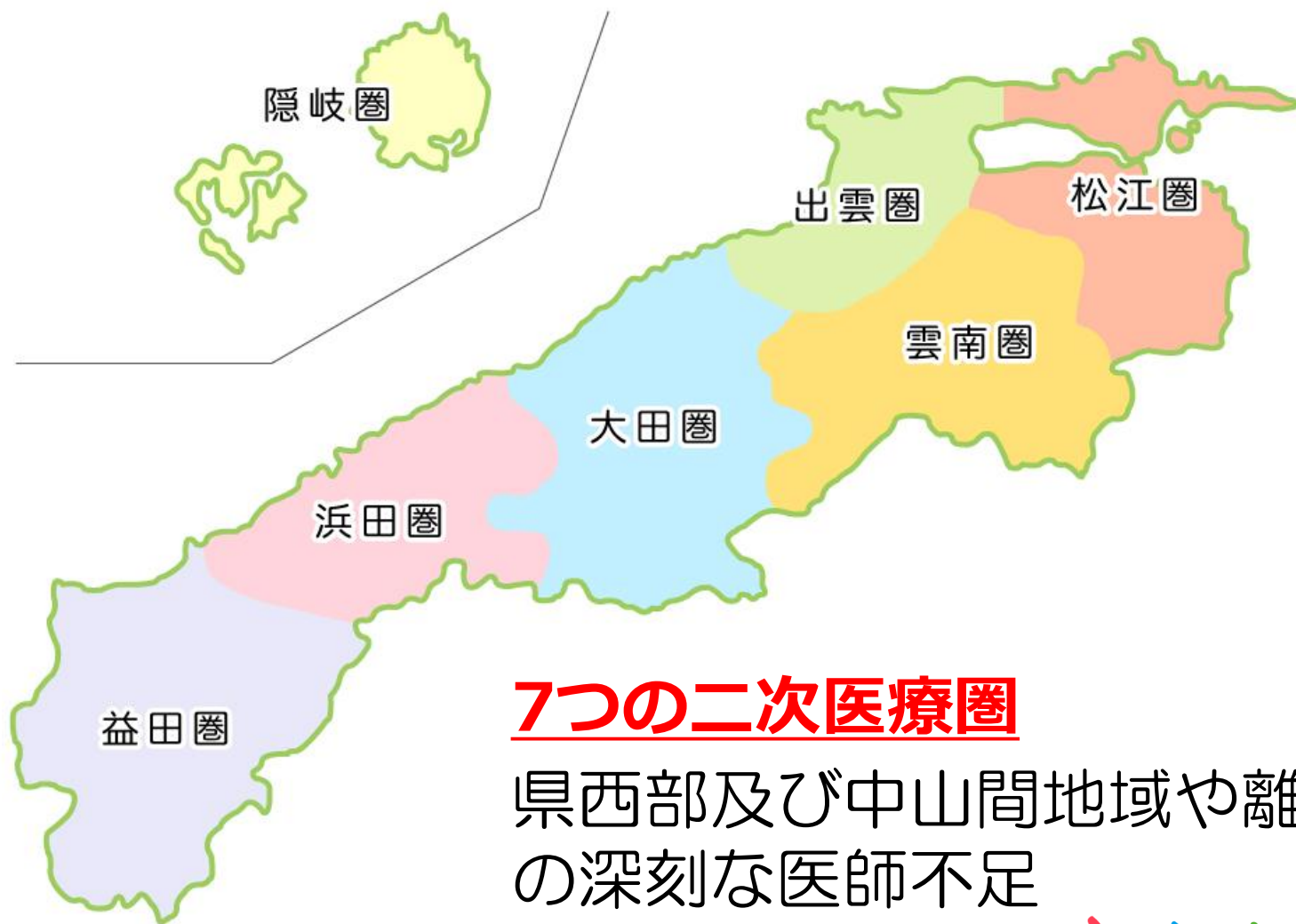
医療資源の県東部地域への偏在

- 人口減少、高齢化の進行
- 高齢者の一人暮らしの増加



高齢者の医療を受ける機会の増加
慢性疾患の増加

島根県の二次医療圏



7つの二次医療圏

県西部及び中山間地域や離島の深刻な医師不足

島根県のエイズ医療体制

エイズ中核拠点病院

A) 島根大学医学部附属病院

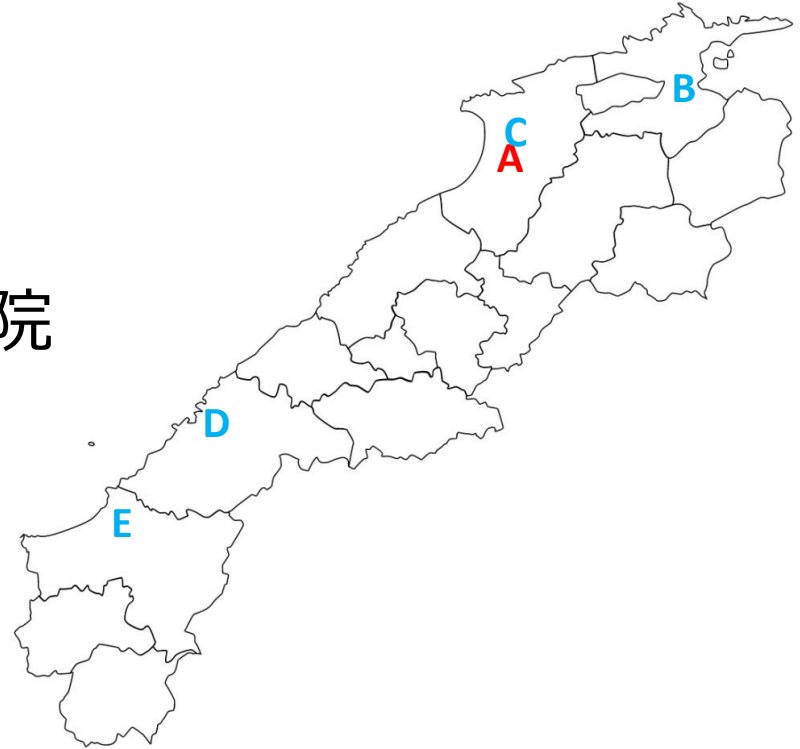
エイズ拠点病院

B) 松江赤十字病院

C) 島根県立中央病院

D) 国立病院機構浜田医療センター

E) 益田赤十字病院

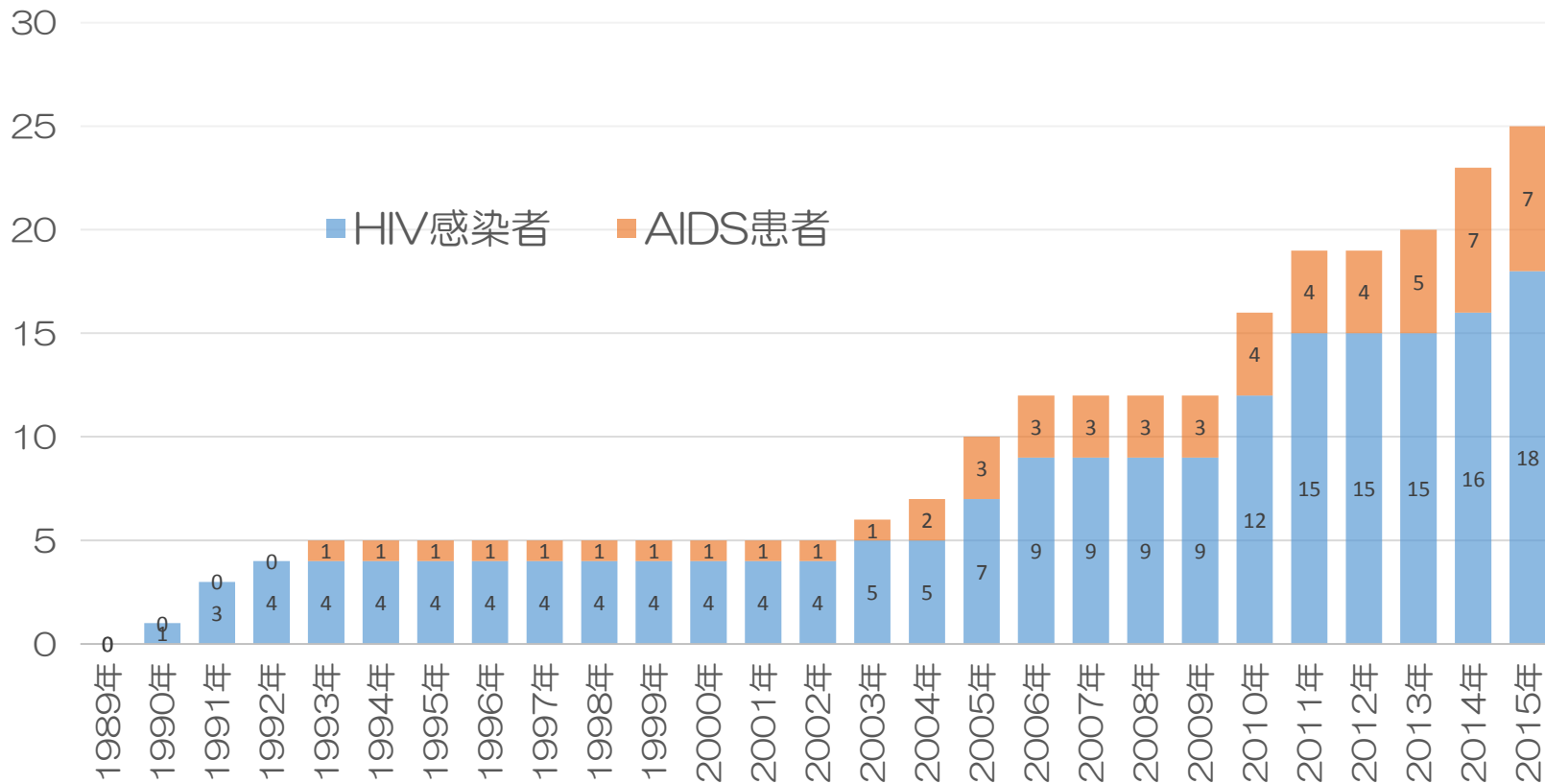


島根県内のエイズ拠点病院

病院名	累積患者数
島根大学医学部附属病院	10～19名
松江赤十字病院	6～9名
島根県立中央病院	0～5名
浜田医療センター	記載なし
益田赤十字病院	0～5名

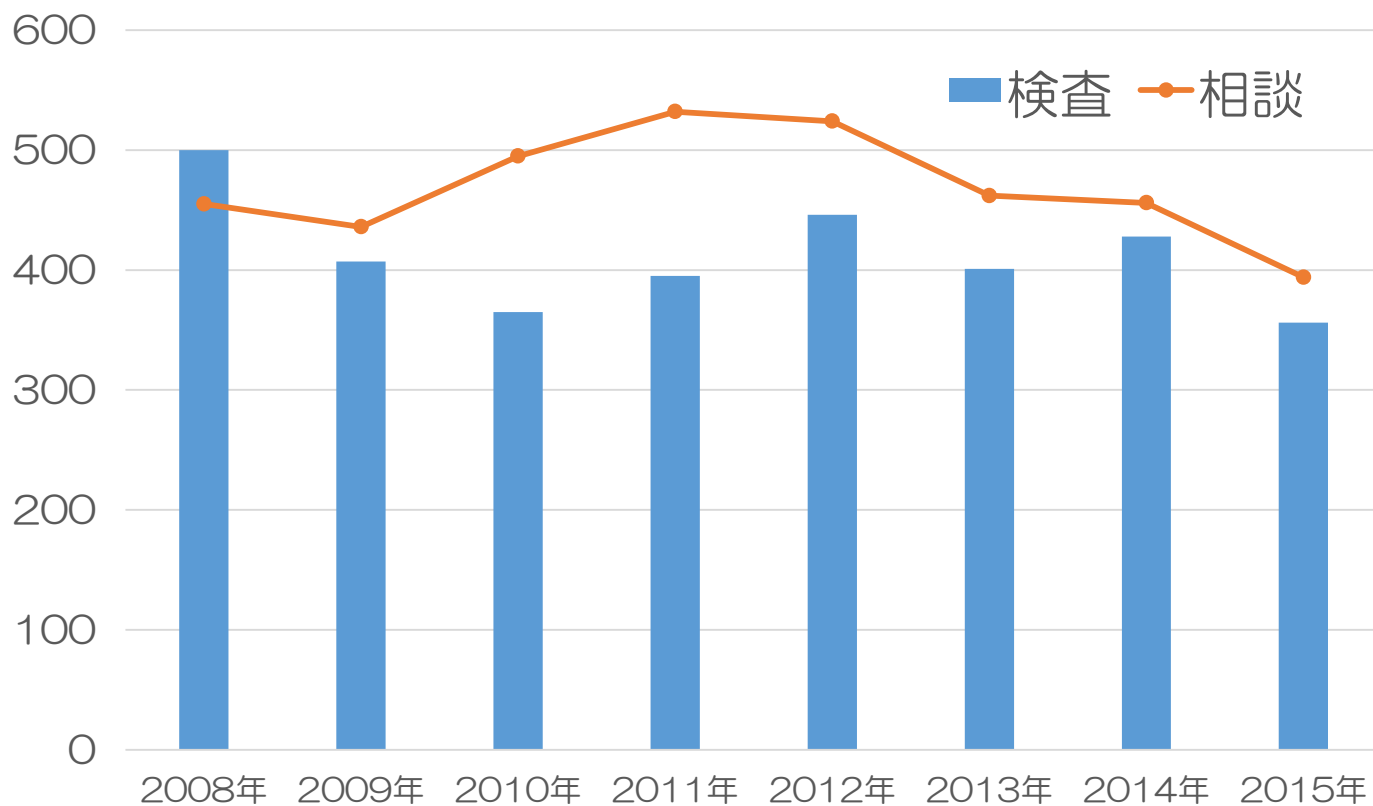


島根県のHIV/AIDSの累計報告数



AIDS患者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0
HIV感染者	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	3	3	0	0	1	2

島根県の保健所等における H I V抗体検査件数と相談件数



島根大学医学部附属病院の概要

病床数 600床

平均在院日数 14.9日

1日平均入院患者数 527.6人

1日平均外来患者数 1055.7人

地域医療と先進医療が調和する大学病院



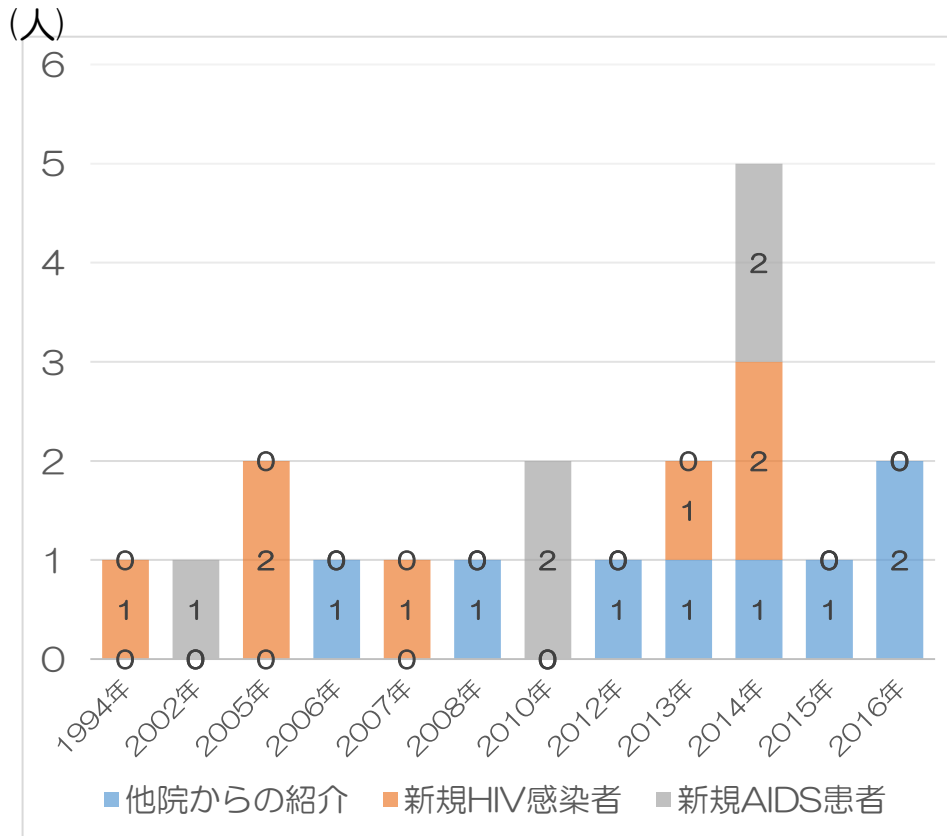
当院エイズ医療チームの構成

医師	1名
薬剤師	1名
看護師	3名
医療ソーシャルワーカー (MSW)	2名
臨床検査技師	1名
カウンセラー	1名 (週1回の派遣)

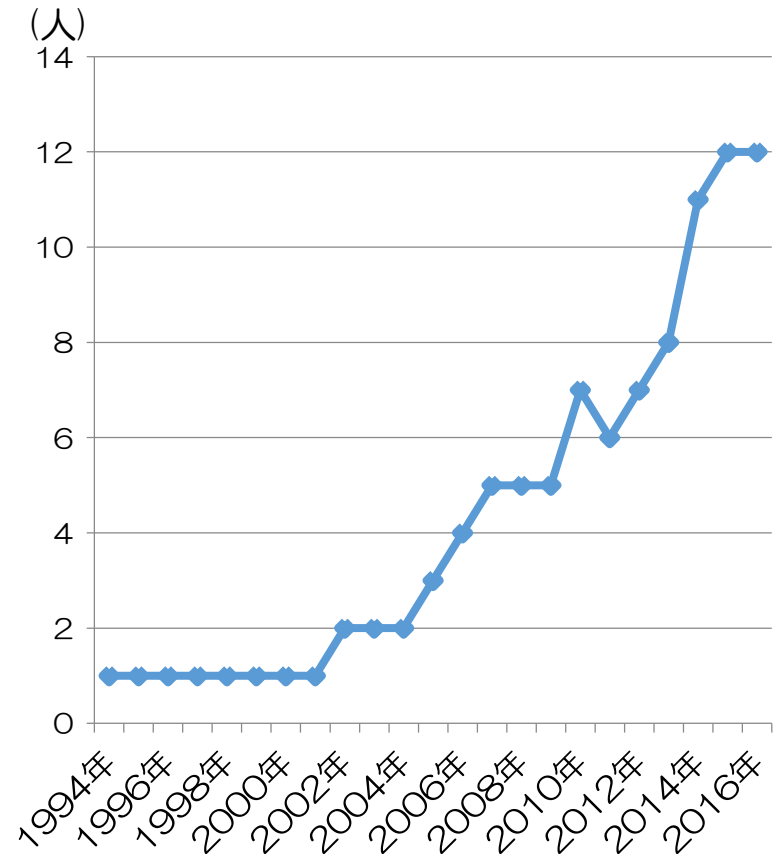
いずれも兼務であり、十分な体制とはいえない

当院のHIV患者の現状

当院新規患者数の推移

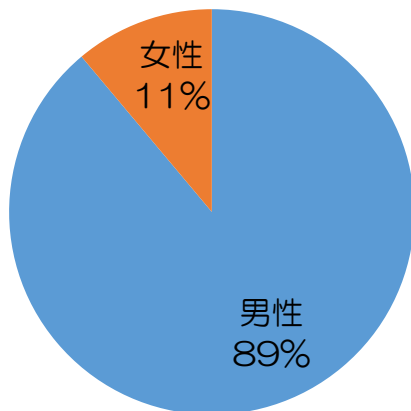


通院患者数の推移

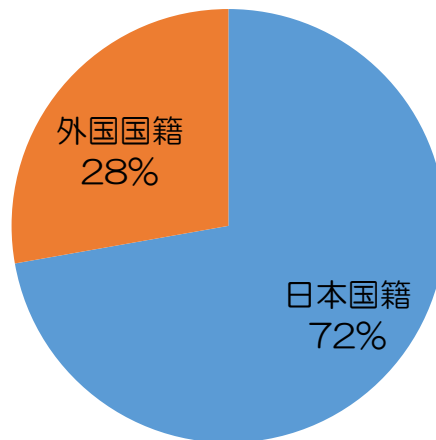


当院を受診したHIV患者の状況

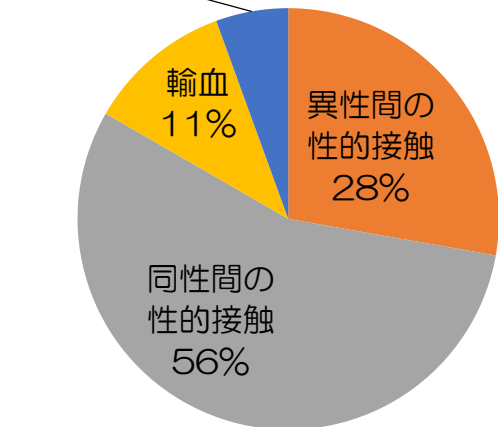
男女比



国籍



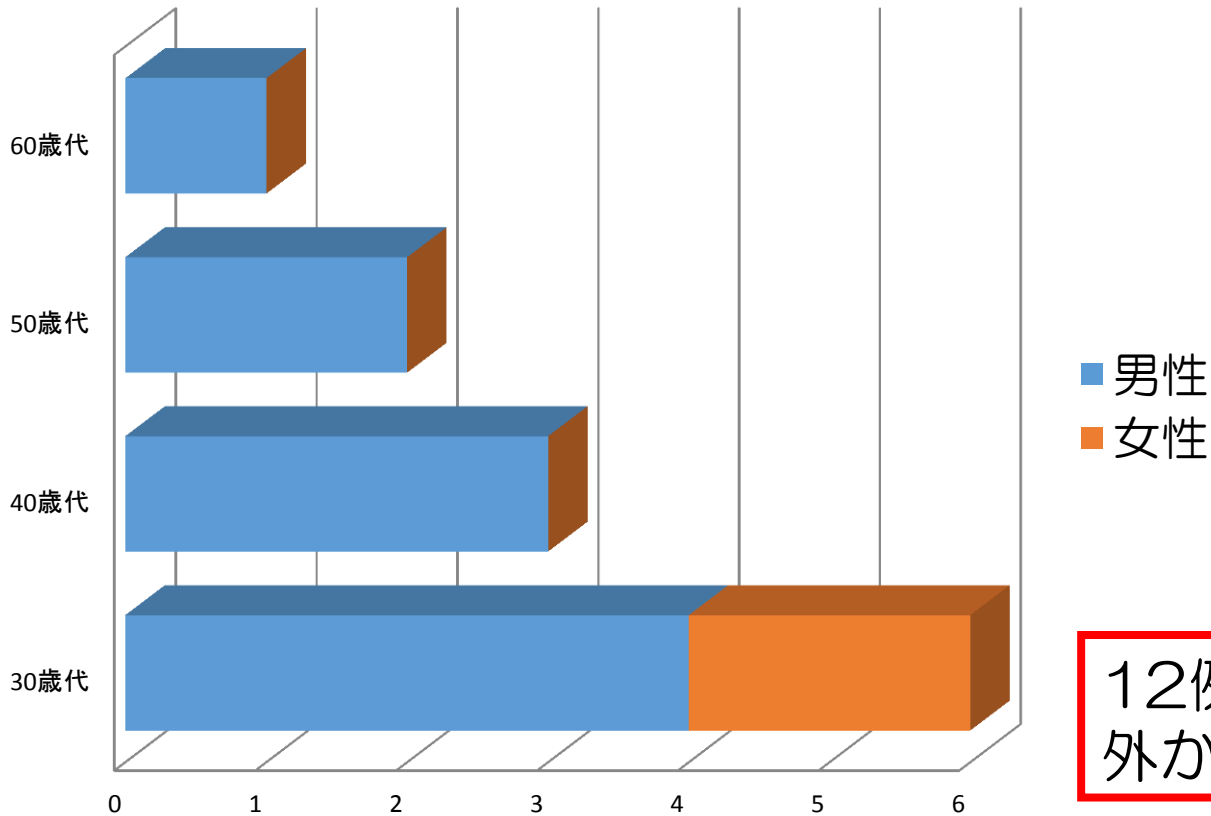
感染経路の内訳



- ・外国国籍の方は、すべて派遣会社からの派遣で島根県の職場で仕事に従事されている方。
- ・感染経路のうち、輸血は1例は外国国籍の方、もう1例は、海外で輸血を受けた時に感染した以外に原因の可能性がなかった方。

通院患者の内訳

現在通院中の患者さんの年齢



12例中6例が二次医療圏
外から通院している

これまでに起こった対応に苦慮した事例

- HIV陽性妊婦の出産
- 赤痢アメーバ脳膿瘍の後遺症として、視力障害・高次機能障害がある患者の施設等との連携
- 刑務所からの患者紹介
 - 島根県浜田市に島根あさひ社会復帰促進センター
- 外国人患者への対応
- 他院からの血液・体液暴露の問い合わせへの対応

まとめ

- 島根県で登録される新規HIV/AIDS患者数は少ない
- 島根県で実際に治療を受けているHIV感染者数も少ない
- HIV診療を実際に行っている医療機関は島根県東部のみである
- 患者数が少ないこともあり、HIV診療体制が不十分なところもあり、今後改善が必要である